

平成21年度 第1回 佐世保市保健・医療・福祉審議会

議 事 要 旨

【日 時】平成22年2月19日(金)19:00～

【場 所】佐世保市役所本庁舎5階 庁議室

【出席者】委員18名(23名中)、代理出席者3名、臨時出席者1名、および事務局

○欠席委員…林(俊孝)委員、永元委員

○代理出席…土井氏(福田委員代理)、太田氏(七熊委員代理)、迎氏(古場委員代理)

○臨時出席…安部氏(子育て専門部会長)

(事務局) 保健福祉部長、子ども未来部長、保健所長、保健福祉部理事(福祉事務所長)以下、保健福祉部および子ども未来部内各課長

■議事(1)副会長の選任について

◆大淵会長

前任の鶴田副会長が退任され空席となっている副会長を新たに選任する。条例の規定により委員の中から決めることになるが、事務局案はあるか。

◇事務局

副会長の後任、長崎県佐世保子ども・女性・障害者支援センター所長の大島委員をご推薦したい。

(各委員賛成)

◆大淵会長

皆様賛成のようなので大島委員にご了承願いたい。

◆大島副会長

昨年10月から佐世保子ども・女性・障害者支援センターの所長を拝命しており、初めてでいろいろとわからないことがあるかと思うが、よろしく願いたい。

■議事(2)平成21年度に策定中の計画について

◆安部部会長

「次世代育成支援佐世保市行動計画」の前期計画が21年度末で終了するため、22年からの5か年計画である後期行動計画を策定しなければならない。その内容を計6回の子育て専門部会で協議した。(資料説明)

◆土井氏

この報告書の計画案には、目標と状況の一覧表を入れたほうがいい。

◇事務局

目標値は本文にも入れているが、見にくいという意見があり、目標値をまとめて最後に追加しようと考えている。

◆土井氏

人口中絶の19%という数値は、横に書いてある全国平均より高いのだろうが、本文には*印をつけたほうが親切。また、すごく厚いので、概要があったほうが分かりやすいのではないか。どれが新規事業か、というようなことは一つ一つ見ればわかると思うが、概要があったほうが読む人は助かると思う。

◇事務局

計画が膨大なので、概要版を今準備している。

◆大淵会長

虐待の説明があったが、具体的に何件とか何%とか(数値は)把握できているのか。

◇事務局

平成20年度の実績では、子ども子育て応援センターには、1年間で、虐待だけでなく非行、障がいの相談や母子自立支援などと合わせて4,545件の相談があつている。そのうち虐待の相談件数は1,278件。

◆大淵会長

計画の新規事業23項目というのは、本文では分かるようになっているのか。

◇事務局

本文に印はつけていない、目次には「新規」と入れたいと思っており、今後これにつけ加えたい。

■議事(3)平成21年度の各計画等の報告

◇事務局

(※資料2～4の説明)

◆土井氏

特定健診がどこにも出てこない。健康づくりの中では特定健診はあまりフォローしないのか。

◇事務局

本来ならば国民健康保険の事業としてご報告申し上げるべきだが、所轄が違うので今日は出ていない。来年からは別途報告したい。

◆大淵会長

この「けんこうシップさせぼ21」というのは今から随分前になると思うが、できたのはいつ頃か。策定年度によって「21」とかつくのか。

◇事務局

計画書そのものができたのは平成14年3月。

「21世紀に向けて」ということのでついた数字。

◆佐々木委員

障がい福祉に関して、「精神保健福祉ボランティアの養成講座で11名の方が講座を終了した」とあるが、その方々と家族会とはつながってない。家族の思いや苦労などもボランティアの方にわかっただいて、啓発活動に参加してほしいが、講座を修了した方々の情報は入らない。交流の場を覗くだけでもいいので、そういう橋渡しをしてもらえないか。

◇事務局

ボランティア講座は精神障がいの全般について理解していただき、交流の方法を知ってもらうことが主な目的で、実際にデイケアや「ふれんず」へ行っていただき、活動内容を紹介しながら理解を深めて頂くようにしている。

ご家族との交流については、ボランティアの方の意見も聞きながら、今後検討していきたい。参加者本人がご家族の方とも交流したいということであれば、家族会をご案内したい。また、先日の「心の健康づくりフェスティバル」の受付でも一緒に活動していただいたように、家族会の方とボランティアの方が、いろんな場面で自然に交流する場も作れればと考えている。

◆古賀委員

分煙については、社会的に分煙が推進されていて、地域によっては飲食店全て禁煙になったり、罰金制になったりと、厳しい動きも出ているが、本市の取り組みは消極的な気がするが、何か理由でもあるのか。

◇事務局

たばこ対策については、健康増進法に基づいて、受動喫煙防止対策から取り組むこととし、まずは本年度、市が管理する公共施設において進めていこうと考えている。神奈川県等ではこういった受動喫煙防止についても、民間の施設にまで及ぶような厳しい条例が制定されているが、本市ではそこまではしていない。

◆古賀委員

佐世保は福祉については先進的とされているのに、どうして分煙だけは非常に遅れているのか。できればもっと積極的に進めていただければと思う。

◆前川委員

障がい者プランの2ページ、生活支援の2に、「地域自立支援協議会を核とした関係機関の連携と強化」という項目の中で「既存の障がい者関係協議会等々の連携を図る」とあるが、関係協議会というのはどういう団体か。

◇事務局

自立支援協議会は自立支援法が施行されてから立ち上げ、これまでの2年間(6回)ではほとんどがケースの検討で、自立支援協議という意味ではあまり充実できなかったもので、少し組織を見直した。協議会の前段の運営会議の場である程度内容をもんで協議会にあげるようにした。その場で、障がい者の関係機関との連携を取り、相談支援事業所のネットワークの情報や、お店を営業されている団体の悩みなども吸い上げたい。

◆前川委員

うちの利用者さんで、10年ほど入院されていた精神科を退院されたが、入居先の知的障がい者グループホームでは受け入れられず、結局家で引き取られなければならない状況になった方がいる。母親がご高齢で父親もないため、ご本人の希望でうちの施設に通われているが、かなり対応が難しくなっている。

利用者を一事業所で受け入れるのが難しい場合に、

自立支援協議会のような場で、医師も含めたネットワークを活用した対応策を考えていただければ助かる。

◇事務局

すぐ支援に結びつくことはないかもしれないが、そういった個別の悩みも吸い上げて、より広く協議して一緒に悩んでみたいと考えている。市としても、職員がどのように対応すればいいかわからないこともある。個別の相談についても、いろんな人の手を借りながら一緒に考えていきたいので、そのような情報も提供していただきたい。

◆佐々木委員

私もこの地域自立支援協議会というのは、退院したくても受け皿がなくて退院できない人たちを地域で生活させるために支援をする退院促進事業のことなのか。

◇事務局

精神科に長期入院されている方に生活のスキルなどを学んでいただくために、地域移行支援員が支援しながら退院につなげる「精神障がい者地域移行业業」は、精神科の施設関係者を中心に実施している別の事業。

地域自立支援協議会は、知的障がい・精神障がい・身体障がいという三障がいに共通するもの。

◆佐々木委員

今“アクト”という活動が話題になって広がっているが、佐世保ではそういうものを立ち上げる動きはあるのか。

◇事務局

今のところ、立ち上げには至っていない。

◆飛永委員

この審議会は年に1回だけあるのか。このような資料では、どこに重点があってどこを読み込めばいいのかさっぱりわからない。皆さんの意見や説明を聞けばそれぞれの内容はわかるが、つながりはまったくわからない。

◇事務局

この審議会とその下部の専門部会の、それぞれの組織や審議のあり方について、今後ご意見をいただきながら考え直し、資料も見やすいようにしていきたい。

◆下田委員

私も初めて参加させていただいたが、年に1回というの

はあまりにも少ないと思う。せめて数回あれば勉強できるし、具体的なことも分かるような気がする。

◆浜崎委員

資料3の障がい者プランの3ページの「居住支援」についてだが、地域生活移行については、特に身体障がい者は、バリアフリー化された住宅がないと地域には出にくい。泉福寺にある公営住宅は良いが、8人くらいしか入れず、入れ替わりは無い。こういう一般の地域に住めるような公営住宅をもっと増やして欲しいが、それも含めて身体障がい者が地域に出ることに、具体的なプランを行政でも考えていただきたい。

◇事務局

泉福寺の住宅(シルバーハウジング)は、建物に緊急通報装置もあり、障がい者の方も入居できる。そういう施設を増やす予定はないが、その働きかけは必要だとは考えているし、市営住宅を増築、改築する場合は、バリアフリーを意識した設計が行われている。

◆大島副会長

自殺の問題について、長崎県の自殺者は年間400人で、本市でも年間70人前後。自殺の問題をこの審議会で話すのはどうかと思うが、市としても十分認識し、対応について前向きに取り組んでいただきたい。

◆土井氏

この審議会は、専門部会等でのご意見などを踏まえて、総合的な議論をする会。重点版で問題点などは簡明にさせていただいているとはいえ、年1、2回の開催では、その時の内容があまりに膨大なもので、資料の作り方を工夫していただきたい。また、先ほどから他の部署のことも話に出ていたが、それは参考ということであげればいい。

◇事務局

この審議会は重要な会議で、今日も次世代育成の計画をご承認頂いたほか、各部会の状況をご説明してもらったが、この膨大な資料はちょっと酷だった。場合によってはテーマを絞ってご議論いただきたい。また、この審議会と専門部会の関係も整理すべきと思う。次回以降、そういうことを頭に入れながら、充実させていきたい。